

# RYOBI®

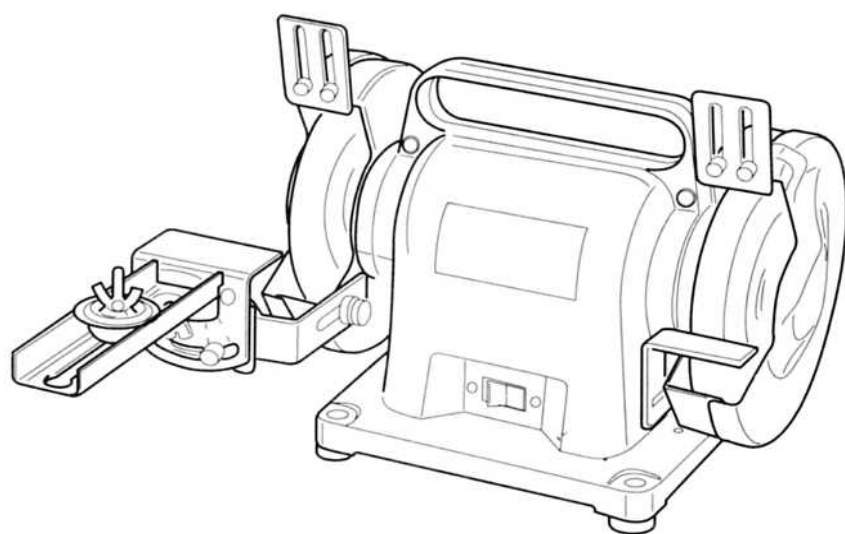
## 両頭グラインダ

### G-6

取扱説明書

ご使用前に必ずこの取扱説明書を最後までよくお読みいただき、使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分ご理解のうえで、正しく安全にご使用くださるようお願いいたします。

また、この取扱説明書は大切にお手元に保管してください。



### もくじ

- ・安全上のご注意 ..... 1～4
- ・各部の名称、仕様、付属品 ..... 5
- ・別販売品、用途 ..... 5
- ・ご使用前に ..... 6
- ・操作方法 ..... 7～10
- ・保守と点検 ..... 11

6984664

#### ■保守と点検

△  
警告

・保守、点検、部品交換等のお手入れの前にプラグを必ず電源から抜いてください。  
けがや感電の原因になります。

#### ●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

#### ●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。

このたびは、リョービ両頭グラインダをお買上げいただきありがとうございます。  
安全に能率良くお使いいただくために、ご使用前にこの取扱説明書を最後までよくお読みください。

使用上の注意事項、本機の能力、使用方法など十分にご理解の上で正しく、安全にご使用くださるようお願いいたします。

## 注意文の「△警告」、「△注意」の意味について

ご使用上の注意事項は「△警告」と「△注意」に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

なお、「△注意」に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結び付く可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載しているので、必ず守ってください。

△警告：誤った取扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

△注意：誤った取扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。

「△警告」・「△注意」以外の製品の据え付け、操作、メンテナンス等に関する重要な注意事項は「(注)」にて表示しています。安全上の注意事項と同様必ず守ってください。

## ■安全上のご注意

- 火災、感電、けがなどの事故を未然に防ぐため、次に述べる「安全上のご注意」を必ず守ってください。
- ご使用前に、この「安全上のご注意」すべてをよくお読みの上、指示に従って正しく使用してください。
- お読みになった後は、お使いになる方がいつでも見られる所に必ず保管してください。

### △ 警 告

1. 作業場は、いつもきれいに保ってください。
  - ・ ちらかった場所や作業台は、事故の原因となります。
2. 作業場の周囲状況も考慮してください。
  - ・ 電動工具は、雨中で使用したり、湿った、またはぬれた場所で使用しないでください。
  - ・ 作業場は十分に明るくしてください。
  - ・ 可燃性の液体やガスのある所で使用しないでください。
3. 感電に注意してください。
  - ・ 電動工具を使用中、身体をアースされているものに接触させないようにしてください。(例えば、パイプ、暖房器具、電子レンジ、冷蔵庫などの外枠)
4. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業員以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業員以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理に使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

7. 作業に合った電動工具を使用してください。
  - ・小型の電動工具やアタッチメントは、大型の電動工具で行なう作業には使用しないでください。
  - ・指定された用途以外に使用しないでください。
8. きちんとした服装で作業してください。
  - ・だぶだぶの衣服やネックレス等の装身具は、回転部に巻込まれる恐れがありますので着用しないでください。
  - ・屋外での作業の場合には、ゴム手袋と滑止めのついた履物の使用をお勧めします。
  - ・長い髪は、帽子やヘアカバー等で覆ってください。
9. 保護めがねを使用してください。
  - ・作業時は、保護めがねを使用してください。また、粉じんの多い作業では、防じんマスクを併用してください。
10. コードを乱暴に扱わないでください。
  - ・コードを持って電動工具を運んだり、コードを引張ってコンセントから抜かないでください。
  - ・コードを熱、油、角のところがった所に近づけないでください。
11. 加工する物をしっかりと固定してください。
  - ・加工する物を固定するために、クランプや万力などを利用してください。手で保持するより安全で、両手で電動工具を使用できます。
12. 無理な姿勢で作業をしないでください。
  - ・常に足元をしっかりとさせ、バランスを保つようにしてください。
13. 電動工具は、注意深く手入れをしてください。
  - ・安全に能率よく作業をしていただくために、刃物類は常に手入れをし、よく切れる状態を保ってください。
  - ・注油や付属品の交換は、取扱説明書に従ってください。
  - ・コードは定期的に点検し、損傷している場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所に修理を依頼してください。
  - ・延長コードを使用する場合は、定期的に点検し、損傷している場合には交換してください。
  - ・握り部は、常に乾かしてきれいな状態に保ち、油やグリースがつかないようにしてください。
14. 次の場合は、電動工具のスイッチを切り、プラグを電源から抜いてください。
  - ・使用しない、または修理する場合。
  - ・刃物、といし、ビット等の付属品を交換する場合。
  - ・その他危険が予想される場合。
15. 調節キーやレンチ等は、必ず取外してください。
  - ・電源を入れる前に、調節に用いたキーやレンチ等の工具類が取外してあることを確認してください。
16. 不意な始動は避けてください。
  - ・電源につないだ状態で、スイッチに指をかけて運ばないでください。
  - ・プラグを電源にさし込み前に、スイッチが切れていることを確かめてください。
17. 屋外使用に合った延長コードを使用してください。
  - ・屋外で使用する場合、キャブタイヤコードまたはキャブタイヤケーブルの延長コードを使用してください。

18. 油断しないで十分注意して作業を行なってください。
- ・電動工具を使用する場合は、取扱方法、作業の仕方、周りの状況等十分注意して慎重に作業してください。
  - ・常識を働かせてください。
  - ・疲れている場合は、使用しないでください。
19. 損傷した部品がないか点検してください。
- ・使用前に、保護カバーやその他の部品に損傷がないか十分点検し、正常に作動するか、また所定機能を発揮するか確認してください。
  - ・可動部分の位置調整および締付け状態、部品の破損、取付け状態、その他運転に影響を及ぼす全ての箇所に異常がないか確認してください。
  - ・損傷した保護カバー、その他の部品交換や修理は、取扱説明書の指示に従ってください。取扱説明書に指示されていない場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。スイッチが故障した場合は、お買上げの販売店またはリョービ販売営業所で修理を行なってください。
  - ・スイッチで始動および停止操作の出来ない電動工具は、使用しないでください。
20. 指定の付属品やアタッチメントを使用してください。
- ・本取扱説明書およびリョービパワーツールカタログに記載されている付属品やアタッチメント以外のものを使用すると、事故やけがの原因となる恐れがありますので使用しないでください。
21. 電動工具の修理は、専門店で依頼してください。
- ・本製品は、該当する安全規格に適合していますので改造しないでください。
  - ・修理は、必ずお買上げの販売店またはリョービ販売営業所の申し付けください。修理の知識や技術がない方が修理しますと、十分な性能を発揮しないだけでなく、事故やけがの原因となります。

## 騒音について

ご使用に際し、周囲に迷惑をかけないように、各都道府県等の条例で定める騒音規制値以下でご使用になる必要があります。必要に応じてしゃ音壁を設けるなどしてください。

4. 子供を近づけないでください。
  - ・ 作業者以外、電動工具やコードに触れさせないでください。
  - ・ 作業者以外、作業場へ近づけないでください。
5. 使用しない場合は、きちんと保管してください。
  - ・ 乾燥した場所で、子供の手の届かない高い所または鍵のかかる所に保管してください。
6. 無理に使用しないでください。
  - ・ 安全に能率よく作業するために、電動工具の能力に合った速さで作業してください。

## 両頭グラインダご使用に際して

先に一般工具としての共通の警告・注意事項を述べましたが、両頭グラインダをご使用の際には、さらにつきに述べる警告・注意事項を守ってください。

### △ 警 告

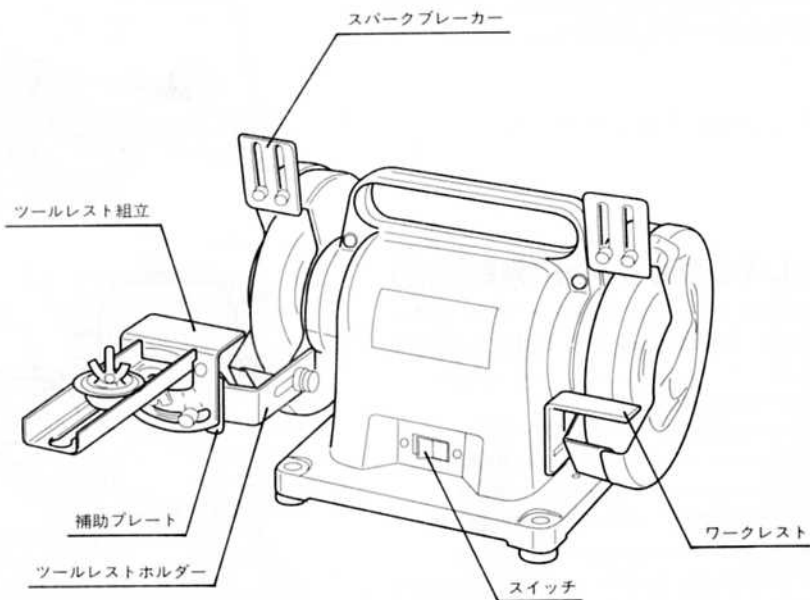
1. 使用電源は、銘板の表示してある電圧で使用してください。
  - ・ 表示を超える電圧で使用すると、回転が異常に高速となり、けがの原因になります。
2. 砥石、砥石カバー、アイシールド、刃物台などは、取扱説明書の指示に従い正しく取付けて使用してください。
  - ・ 取付けが不確定な状態で使用しますと、けがの原因になります。
3. 使用中は、砥石や回転部に手や顔を近づけないでください。
  - ・ けがの原因になります。
4. 使用する砥石は、最高使用周速度50m/s以上の正規の砥石を取付け、正しい使用面で研削してください。側面での研削はしないでください。
  - ・ 正規以外の砥石を使用したり、また側面で研削すると、砥石が破壊し、けがの原因になります。
5. しっかりした台に固定して使用してください。
  - ・ 機体をボルトナットなどで作業台にしっかり固定してください。機体不安定ですと、けがの原因になります。
6. 使用中、機体の調子が悪かったり、異常音がしたときは、直ちにスイッチを切って使用を中止し、お買上げの販売店、またはリョービ販売営業所に点検・修理を依頼してください。
  - ・ そのまま使用していると、けがの原因になります。
7. 事業者の方へ

砥石の取替え・試運転は、法・規則で定める特別教育を受けた人に行なわせてください。 関連法令 労働安全衛生規則 第36条  
労働安全特別教育規程 第1条、第2条

### △ 注 意

1. 砥石をご使用の場合で、新しい砥石を取付け、はじめてスイッチを入れるときは、砥石の露出部から一時身体を避けてください。
  - ・ 砥石が破壊したとき、けがの原因になります。
2. 試運転を励行してください。
  - ・ 試運転時間は、砥石交換のとき.....3分間以上

## ■各部の名称



## ■仕様

- 電源……単相・交流100V、50/60Hz
- 電流……1.3A
- 消費電力……120W
- 無負荷回転数  
(50Hz)……(n<sub>0</sub>)3,000min.<sup>-1</sup>(3,000回/分)  
(60Hz)……(n<sub>0</sub>)3,600min.<sup>-1</sup>(3,600回/分)
- 砥石寸法 (外径) (内径) (厚さ)  
目立砥石……150 × 12.7 × 6.4 (mm)  
平型砥石……150 × 12.7 × 16 (mm)
- 重量……5.1kg
- コード長さ……2 m

## ■用途

- 工場におけるバイト、ドリルなどの研削、バリ取り作業。
- 包丁、鎌、農機具の刃物の研削、刈払機の刃おとび丸ノコの目立て。  
(丸ノコ刃おとび刈払機の刃の研磨は、丸鋸研磨治具をご使用ください。)

## ■付属品

- スパークブレーカ……………2
- 平型砥石#60(本体取付)……………1
- 目立砥石#60(本体取付)……………1
- 丸鋸研磨治具セット

## ■別販売品

- フレキシブルシャフト (M-1026)

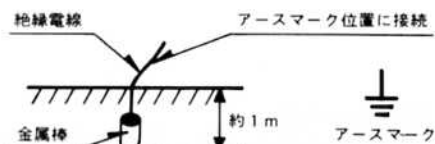
## ■ご使用前に

### ●漏電しゃ断器について

- ご使用前に、本機が接続される電源に感電防止用漏電しゃ断装置(漏電しゃ断器)が設置されていることを確認してください。定格感度電流15mA以下、動作時間0.1秒以下の電流動作型の市販品の漏電しゃ断器をご使用ください。  
(労働安全衛生規則第333条、第334条、電気設備の技術基準第18条、第28条、第41条)

### ●アースについて

- 感電事故を防止するため、本体後部に付いているアースネジよりアースを必ず取って安全な作業をしてください。
- 金属棒を地中に埋込み、アース線を接続する電気工事は電気工事士の資格が必要ですので最寄りの電気工事店にご相談ください。



### ●据付け

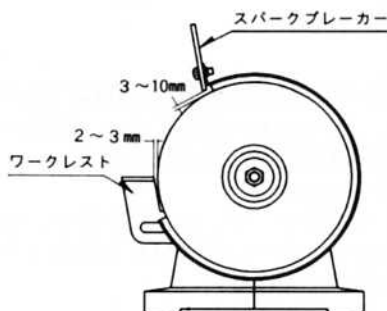
本体を据付ける際は、平たんな場所にガタのない様に取り付けてください。  
取付けは、本体下部の4つの穴を利用して確実に頑丈な台に固定してください。

### ●スパークブレーカ } について

### ●ワークレスト

- スパークブレーカは本体より取りはずしてありますから、必ず取りつけてご使用ください。
- スパークブレーカと砥石のすきまは、3～10mm、ワークレストと砥石のすきまは2～3mmに調整し作業を行なってください。

(スパークブレーカとワークレストは砥石が減るにしたがって常に調整してください。)



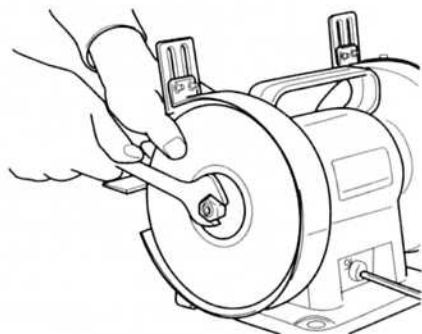
## ■操作方法

### ●砥石の交換について

#### △警告

- ・砥石に触れるときや砥石の交換のときは、必ず本機のスイッチを切った後に、電源プラグをコンセントからぬいて、不意にモーターが回ることはないようにしてください。
- ・砥石にヒビ、割れなどの異常がないことを確認してから使用してください。

- 砥石の交換は砥石カバーをはずし、モートル軸が回転しないように固定し締付六角ナットをゆるめ砥石の交換を行なってください。  
締付六角ナットは砥石の回転方向に回すとゆるみます。
- 砥石の交換時には、フランジ止めピン、カラーなどを紛失しないようご注意ください。



### ●切削方法

#### △警告

- ・スイッチを入れるまえに、砥石の取付けにゆるみやガタがないことを確認してください。
- ・スイッチが切れていることを確認してから電源プラグを電源コンセントに接続してください。引火しやすいものの近くでは使用しないでください。また、引火しやすいもの、傷付きやすいものは安全な場所に遠ざけてください。

#### △注意

- ・研削中は、砥石カバーの前方に、熱くなった研削粉塵(火の粉)が勢いよく飛び出てきますので、十分注意をしてください。
- ・研削作業は加工物をワークレストにのせ、加工物をしっかり保持し正しい作業姿勢で行なってください。
- ・研削砥石の決められた使用面以外での使用はしないでください。特に平形の研削砥石は横からの力に弱いので、砥石の側面を使用しないでください。

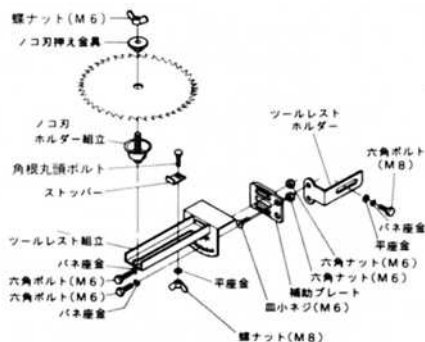
(注) 研削砥石は時々ドレッシングをしてください。目つぶれ、目づまりの砥石をご使用になりますと加工面が悪くなったり、作業能率が低下します。  
時々ブリックストーンなどのドレッサーでドレッシングをし、外周を正しい形状にして研削作業を行なってください。



## ●丸鋸研磨治具セットの取付け

- 丸鋸研磨治具セットは、右図の様に取付けてご使用ください。
- 木工用丸ノコ刃の目立研磨の場合と、刃形状の違う丸ノコ刃の目立研磨の場合とではセット方法が異なりますのでご注意ください。

(刃形状の違う丸ノコ刃のセット方法は後記参照願います。)

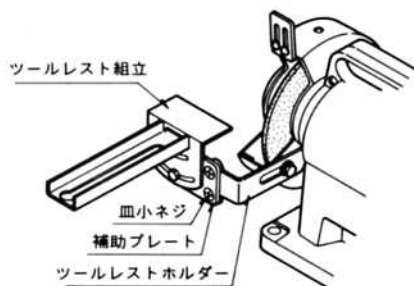


## ●木工用丸ノコ刃の研磨方法

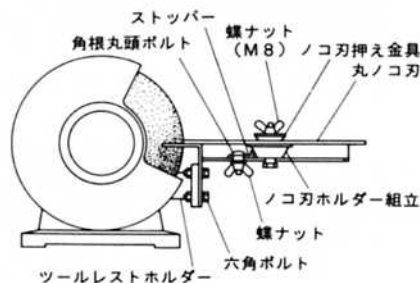
△  
警告

- ・丸ノコ刃の研磨をする前に、ノコ刃押え金具がしっかりと締まっている事を確認してください。けがの原因になります。
- ・研磨中は、保護めがねを着用してください。切粉が目などに入り、けがの原因になります。

① ツールレストホルダーにM6 皿小ネジで補助プレートを取付けた後、ツールレスト組立をM6 六角ボルトで取付けてください。

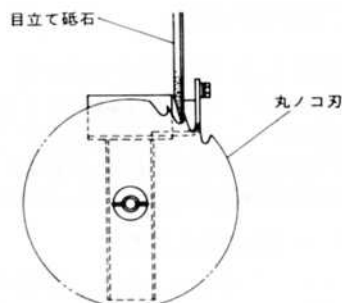


② 丸ノコ刃をツールレストにセットする。  
丸ノコ刃を、ツールレストにセットする場合には、丸ノコ刃をノコ刃ホルダー組立と、ノコ刃押え金具で押え、蝶ナットで締め付け固定した後、ツールレストの長穴にセットしてください。



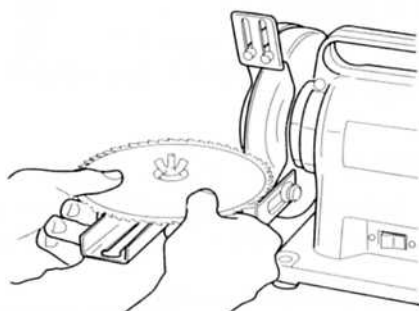
- ④ ツールレストの位置を目立て砥石と丸ノコ刃の刃先が一致する様に調整してください。

- ストッパーは目立て深さを一定にするためのものです。  
目立て深さを決めた後、蝶ナットで締付け固定してください。



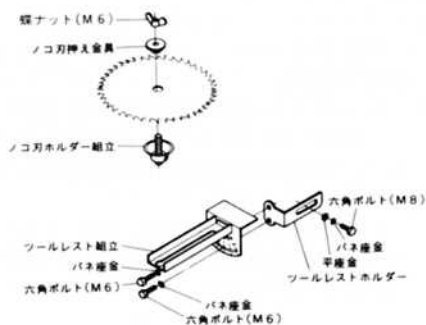
### ⑤ 目立ての方法

- 丸ノコ刃の目立ては、両手で丸ノコ刃をしっかり押え、ツールレストの長穴にそって前後に揺動させながら1目づつ目立てをしてください。



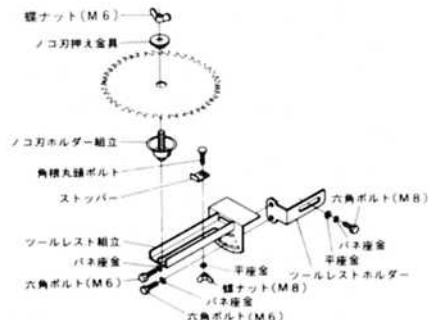
## ● 丸ノコ刃の研磨方法について

- ① 丸ノコ刃の刃形状によって、補助プレートが不必要な場合には取外してご使用ください。  
その場合ツールレスト組立をツールレストホルダーに直接M6六角ボルトで取付けてください。

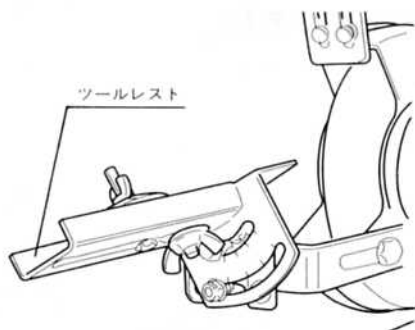


- ② 丸ノコ刃をツールレスト組立にセットする。  
右図の様にノコ刃ホルダー組立とノコ刃押え金具で押え、蝶ナットで締付け固定した後ツールレストの長穴にセットしてください。

- 刃寸法の大きいもの、特殊な刃形状の丸ノコ刃を研磨目立てをする場合にはノコ刃ホルダー組立とノコ刃押え金具は使用しないでください。

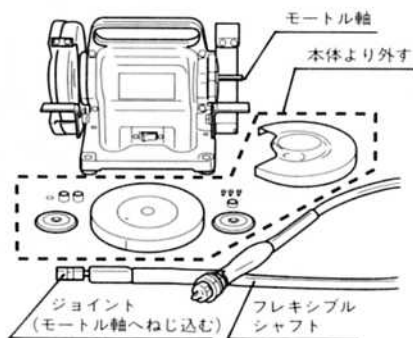


- ③ ツールレストの角度について  
 ツールレストは左右30°までの角度調整が出来ます。  
 刃の角度に合わせて調整し、目立て研磨を行なってください。



## ●フレキシブルシャフト(別販売品)

- 本機はフレキシブルシャフト (M-1026) を別販売品として用意しております。
- (M-1026)仕様  
 チャック能力……………0～6.5mm  
 全長……………1,300mm  
 重量……………900g  
 最大回転数……………4,000min.<sup>-1</sup>  
 最大トルク……………2.0N・m



- フレキシブルシャフトの取付けは次の手順で行なってください。
- ① 右側砥石カバー、砥石、六角ナット、フランジ、カラー、フランジ止めピンを取外します。
- ② モートル軸にフレキシブルシャフトのジョイント部をねじ込み接続します。  
 (注)・カラー、フランジ止めピン等を紛失しないように注意してください。  
 ・モートル軸の左にはフレキシブルシャフトの取付けは出来ません。

## ■保守と点検



・保守、点検、部品交換等のお手入れの前にプラグを必ず電源から抜いてください。  
けがや感電の原因になります。

### ●各部取付ネジの点検

- ネジなどゆるみがないか確認してください。もし、ゆるみがある場合は締直してください。

### ●使用後の手入れ

- 油污れなどをふき取り使いやすい状態にしておいてください。

### ●作業後の保管

- 高温にならない、乾燥したところに保管してください。
- 小さいお子様の手が届かないところで、落下の心配のないところで保管してください。

### ●修理について

- 本機は厳密な管理の元で製造されています。もし正常に作動しなくなった場合には、お買上げの販売店にご用命ください。
- その他、部品ご入用の場合、あるいは取扱い上ご不明な点、ご質問などご遠慮なくお問い合わせください。

部品ご入用、故障の場合、その他取扱い上ご不明な点があった場合には、ご遠慮なくお買上げの販売店、またはリョービ販売営業所にお問い合わせください。

※改良のためお断りなく仕様、外観等を変更することがあります。

**RYOBI**

発売元

リョービ販売株式会社

リョービ株式会社